

# 令和8年度当初予算 時代の変化に対応し 日野の未来を育てる予算 119億円

委員会で細かく審議！

予算決算  
特別委員会

付託案件  
2件



一般会計予算は前年度当初予算より12億5千万円(11.7%)増加となる119億円の過去最大規模の予算が提案されました。

委員会では提案のあった新こども園整備にかかる用地取得や実施設計委託、小学校の給食費無償化、日野中学校体育館空調設備整備などの子育て施策、道路・橋梁などの生活基盤整備、日野菜をはじめとする特産品振興、自治会活動への支援など多岐に渡る分野について、それぞれ分野ごとに説明を受け、慎重な審議を行いました。

## 1. 未来を担うひとづくり

● 幼児教育・保育施設、教育施設の持続可能な体制整備への取り組み

● 子育てしやすい町を目指した子育て支援の推進

**問** 新規事業の「子育て支援おむつ支援事業」は保護者の経済的負担軽減だけでなく相談も目的としているとのことだが、どのように相談につなげていくのか。

**答** 昨今の養育環境の変化により、子育ての不安を一人で抱え込む家庭が増えているため、この事業をきっかけに子どもと一緒に「つどいのひろば ほけっと」に足を運んでもらい、他の保護者や保育士と接することで、自然な声掛けや遊び方を体験し、少しでも子育ての不安を軽減してもらうことを目的としている。

**問** 学校給食の無償化について、小学校で令和8年度から始まる無償化の対象拡大に向けたロードマップが必要だと思うがいかがか。

**答** 中学校や幼稚園などを無償化対象としたロードマップは持ち合わせていない。学校給食においては地元産野菜の活用や子どもたちに給食の匂いを届けること、食育にきちんと取り組むことを大切にしたいと考えている。

## 2. 暮らしを支えるしごとづくり

● ふるさと納税制度を通じた地元の特産品振興、地域に根差した地場産業の発展

● 住宅リフォーム助成制度の継続等による地域内経済循環の推進と魅力ある商店づくりの促進

**問** 「ふるさと応援寄附事業」の寄付額が大幅な増となる根拠は何か。

**答** ふるさと納税は、令和7年度から中間事業者を変更し、寄附しやすい低価格帯の返礼品を充実させたことで、前年度から約1.5倍の伸びがあり、令和8年度の寄付額も同様の伸びを想定している。なお、令和8年度も新たな地場産品を開発する予定である。

## 3. 安心、助け合いのくらしづくり

● 高齢者や障がいのある方を含め、誰もが地域で居場所を持ち、安心して暮らせるための重層的支援の推進

● 「環境と調和する持続可能な社会」の実現に向けた循環型社会および環境共生の推進

**問** 重層的支援体制整備事業への移行により、町にとって具体的にどのような変化があるのか。窓口は一本化されるのか。

**答** これまで各事業でバラバラに対応していた支援を、一体的かつ重層的に実施する仕組みとなり、具体的には生活支援体制整備事業では、高齢者に特化せず多世代交流など全世代を対象とした地域づくりを推進していく。なお、窓口は現状のままである。

## 4. 住みたくなる都市基盤づくり

- 公共交通の充実による住民の利便性の向上、わたむき自動車プロジェクトの推進
- 近江鉄道の活性化に向けた、県や沿線自治体と一体となった支援の推進

**問** 令和8年度からの町営バスの運行について、どのような変更があるのか。

**答** 町営バスは4台(うち1台はジャンボタクシー車両)で運行中の1台を4月から減らすこととなり、主に平子西明寺線のダイヤが大きく減便となる。減便の分については西大路地区へのチョイソコひのの運行拡大により対応する。



## 5. みんなではぐくむ地域づくり

- 時代に合わせた持続可能な地域づくりを目指した自治会への支援の充実
- 日野のたからである文化財の保存・継承・活用の推進

**問** チャレンジ活動支援事業補助金は、総合計画の進取のまちづくりのめざす姿の達成に大きく寄与するものと考えているが、今後どのように利用促進を図っていくのか。

**答** この事業は人と人とのつながりづくり、顔の見える関係の中で、暮らしやすい地域をつくっていく取組を応援するものである。まちづくりを進めていく活動に対して、幅広いテーマの中で活用できる補助金であり、地域での自主的な活動団体にも届くよう広く周知していきたい。



## 令和7年度 日野町一般会計補正予算(第8号)の審査について

- 地域密着型サービスの推進

**問** 地域密着型サービス施設等整備事業補助金の4,060万円の多額の減額について、整備を断念された経過と今後の見通しを聞く。

**答** この事業については県と調整のうえ本年の1～2月に公募したが応募がなかったため、当面は既存の訪問看護や訪問介護等の活用により必要なサービスを提供できるように努める。現在、医療・介護の人材確保が難しい状況に加え物価高騰の影響も続いているため、直ちに再公募はせずに具体的な見通しが立った段階で対応を検討していきたい。

- 議第109号 令和7年度日野町一般会計補正予算(第8号)
- 議第115号 令和8年度日野町一般会計予算

### 反対討論

議第109号は、会計年度任用職員の給与の改善の成果が見られない。また、地域密着型サービス施設の今後の対応策が出ていない。

議第115号は、目玉政策が見当たらない。子育てや自治会活性化の面でも特筆すべきものがない。学校給食費も国が支援する小学校無償化に留まり、中学校への拡大が見られない。

### 賛成討論

議第109号の地域密着型サービスと整備事業の予算は特定財源であり使えるものは限られており、何でも使える訳ではない。また、会計年度任用職員の給与の遡及についても、議会内でも十分に協議を行っている。議第115号では、小学校の給食費の無償化は着実に進んでおり、中学校体育館の空調整備、こども園を集約化して建設するなど目玉政策はたくさんある。

# 提出された議案と結果

○賛成 ×反対

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

## 1月臨時会議(1月26日)

### ●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案
議第94号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第7号) 予算総額 117億3,596万3千円(歳入歳出それぞれ5億4,505万6千円追加) <b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物価高騰の影響を受ける生活者や子育て世帯への支援を行うための経費</li> <li>●防災、減災、国土強靱化を推進するための公共事業に要する経費 など</li> </ul>

## 3月定例会議(3月2日～23日)

議案審査を付託された委員会

【予算決算】 予算決算特別委員会 【総務】 総務常任委員会

【産建】 産業建設常任委員会 【厚生】 厚生常任委員会

### ●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第95号	日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	—
議第96号	日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	—
議第97号	日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	—
議第98号	日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	—
議第99号	日野町情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	—
議第100号	日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第101号	日野町印鑑条例および日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生
議第102号	日野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第103号	日野町職員等旅費支給条例等の一部を改正する条例の制定について	総務
議第104号	日野町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	厚生
議第106号	日野町環境美化に関する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生
議第107号	日野町道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第108号	日野町特別用途地区建築条例の一部を改正する条例の制定について	産建
議第110号	令和7年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	厚生
議第111号	令和7年度日野町介護保険特別会計補正予算(第3号)	厚生
議第112号	令和7年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	厚生
議第113号	令和7年度日野町水道事業会計補正予算(第3号)	厚生
議第114号	令和7年度日野町下水道事業会計補正予算(第2号)	産建
議第117号	令和8年度日野町介護保険特別会計予算	厚生
議第118号	令和8年度日野町後期高齢者医療特別会計予算	厚生
議第119号	令和8年度日野町西山財産区会計予算	総務
議第120号	令和8年度日野町水道事業会計予算	厚生
議第121号	令和8年度日野町下水道事業会計予算	産建
議第122号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第9号)	—

番号	議員提出議案
議第123号	日野町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について <b>内容</b> 本条例は令和7年12月定例会議では可決したものの議会から付帯決議を付けた案件で、今回の議案では、町の会計年度任用職員の給与等を改正しようとする場合の適用（遡及するか、しないか）については、その都度、議会での審査を経るよう改正しました。
議第124号	日野町議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
決議案第2号	北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議について ※決議の内容は二次元コードからご覧いただけます



### ●賛否が分かれた案件

番号	町長提出議案	付託先	結果	錦戸	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦	
議第105号	日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	／
議第109号	令和7年度日野町一般会計補正予算(第8号)	予算決算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	／
議第115号	令和8年度日野町一般会計予算	予算決算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	／
議第116号	令和8年度日野町国民健康保険特別会計予算	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	／

## 総務常任 常任委員会

付託案件  
4件



## 職員の特殊勤務手当・旅費支給の改正は適切か？

### ピックアップ 職員の特殊勤務手当の改正

**内容** 下水道待機手当を1,000円から1,500円に改定

**問** 改定の根拠と他の特殊勤務手当を見直しされなかった理由は？

**答** 特殊勤務手当全体を検討したが、他の手当は県内市町と比べて見劣りしないので改定には至らなかった。下水道待機手当は他市町と比較し検討の結果1,500円とした。

### ピックアップ 職員等旅費支給条例等の改正

**内容** 日当を廃止し、宿泊手当を新設。食卓料は廃止

**問** 出張の際、公共交通か公用車の利用かは職員の判断か？

**答** 公共交通か公用車の利用については、最も効率的で、かつ経済的に安価であるようにしている。

### 決議の審査

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議(案)  
 審査の結果、全会一致で決議案を提出すべきものと決しました。



## 重要なインフラである下水道事業の 令和8年度の方向性は？

産業建設  
常任委員会

付託案件  
4件



### ピックアップ 日野町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

**内容** 電柱・ガス・雨水排水管等で道路管理者に支払う占用料の改定

**問** 今回の改定の目的は？

**答** 近年の地価水準や固定資産税評価額の変動を踏まえた「適正な価格」への改定で、数年ごとの国全体の見直しを受けて町も改正するものである。

### ピックアップ 令和8年度日野町下水道事業会計予算

**内容** 市町村が管理する「家庭、工場の汚水・雨水排水処理」の令和8年度事業

**問** 令和8年度の雨水排水工事予定とその財源は？

**答** 国からの社会資本整備総合交付金を主な財源とし計画を立てている。令和8年度は町内市街地区域周辺での工事や、日野地区の野田川周辺や木津地先での設計委託を予定している。

### 調査研究 日野町の都市計画の現状とこれからについて

## 子ども・子育て支援金の 国保税への上乗せの是非を問う！

ピックアップ 議第105号 日野町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定  
議第116号 令和8年度日野町国民健康保険特別会計予算

**内容** 子ども・子育て支援金分の課税額を定めるための条例改正  
それを反映した当初予算

**問** 今回の改正は、令和8年度から子ども・子育て支援金分が上乗せとなるが、他の医療分や介護分等は据え置きということでしょうか。また、支援金を上乗せすることにより更なる滞納者を招かないか。

**答** 子ども・子育て支援金分のみでその他は据え置きである。国保税が増えるため滞納者への影響は否定できないが、国からは社会保障制度の安定に寄与するものとして理解を求められている。

厚生  
常任委員会

付託案件  
12件



反対  
討論

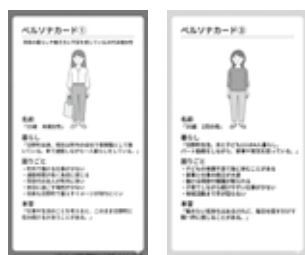
国保加入者の平均年齢は54.2歳と高く、所得は1人当たり平均96万円と、他の保険（協会けんぽ175万円、組合健保245万円）に比べて圧倒的に低くなっている。これは政府も認める「構造的な問題」だが、その解決の見通しが立たないまま、さらに上乗せを行うことは容認できない。町単独で解決できる問題ではないが「仕方ないから賛成する」訳にはいかない。

賛成  
討論

これは国レベルの制度設計の話であり、違う形で議論されるべきものである。日野町としてどうこうできる問題ではない。

## 地域振興 対策 特別委員会

# 仕事と子育ての観点でさらに困りごとを具体化!



※ペルソナとは  
年齢や価値観、悩み  
などを詳細に設定し、  
実在する一人の人間  
のように描き出した  
[理想の顧客モデル]

今回は子育て世代の方にアプリ等を通じアンケートを依頼し、103名から頂いた回答を基にペルソナを作成しました。それを参考に3班に分かれグループワークを行い、当事者目線で困りごとを出し合い、その解決のために必要なことは何かを話し合いました。

### ワークショップで出た主な課題

- ・町内で選べる仕事が少ない
- ・休みにくさや収入への不安がある
- ・多様な働き方やキャリアの情報に触れる機会が少ない
- ・急なときに子どもを預けにくい
- ・家族や地域の支えが弱く、孤立しやすい
- ・核家族化により、精神的経済的負担が大きい
- ・人とのつながりや相談相手が少ない

### 考えられる解決策

- ・病児保育や一時預かりなど、柔軟な支援の充実
- ・公民館など地域の場を使いやすくし、人と人がつながれる環境づくり
- ・キャリア教育や多様な働き方を知る機会の充実
- ・在宅ワークなど新しい働き方の検討
- ・教育の中で、地域とのつながりや町で暮らすイメージを育てること
- ・都市形成、交通、買い物環境も含めたまちづくりの視点が必要

今後は、今回整理された課題や方向性をもとに、総合計画との整合を図りながら既存施策の分析を進めるとともに、住民との意見交換も視野に入れ、具体的な政策提言へとつなげてまいります。

## 議員間討議を積極的に行い、議会を活性化!

議会力  
向上  
特別委員会

### 日野町議会業務継続計画(BCP)の改定実施

大規模災害等の発生の際に、議会機能を継続させるために令和3年5月に策定しており、今回、議長に事故あるときに職務の代理者を設けることなど追加改訂をしました。

### 日野町議会と兵庫県養父市議会との合同研修会を実施 ※P23に報告記事あり

地方議会の更なる活性化を図り、これまで以上に議会の責任と役割を果たしていくため、双方が取り組んできた成果と課題を共有し、議会機能を一層推進させていくことを目的に、同じ人口規模、地域性の養父市議会との合同研修会を3月30日に実施しました。

### 政策立案、提言に向けての研修会(全4回開催しました)

今年度、第4回目の研修会を3月4日に行いました。今回においても講師を招き、予算資料と日野町総合計画との関連性を学習し、「議会が行うべき予算審査／審議について」を学びました。グループワーク形式で意見交換、各グループで発表しながら進めました。

#### スタートした取り組み

- ・議員のなり手不足改善への取り組み  
女性議員が働きやすい環境に向けて
- ・委員会報告等の分かりやすい議事録作成
- ・決算資料様式の改定を提案

#### 今後の取り組み・課題

- ・住民の皆さんとの意見交換会・議会報告会
- ・令和8年度に報酬審議会へ要望を申し入れる
- ・広報や広聴の更なる充実(継続)
- ・令和8年度も外部講師を招き研修会(継続)

# 令和8年3月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、  
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 たにくち 谷口 ともや 智哉	① 「チョイソコひの」を発展させていくためにはどのような視点が必要か 2 デジタル活用による町民参画型生物調査は「環境共生」の実感につながるのか ③ 総合計画の実現の為に職員がやりがいを感じることは重要ではないか	P.9
2 ごとう 後藤 ゆうき 勇樹	1 時代に合った文化財保護のあり方を問う	P.10
3 ふくなが 福永 あきひと 晃仁	1 シニアが輝けるまち日野町のこれから 2 日野町の農業と非農家の役割	P.11
4 にしざわ 西澤 まさはる 正治	1 日野町の水田農業の担い手の育成強化について	P.21
5 かわひがし 川東 あきお 昭男	1 持続可能な公民館運営について	P.12
6 まつだ 松田 ようこ 洋子	1 オーガニックビレッジ宣言をして何をするのか 2 少子化・こども未来戦略の施策は	P.13
7 にしきど 錦戸 ゆか 由佳	1 子どもの熱中症対策について 2 公民館開放事業「ひのっこルーム」について	P.14
8 たかはし 高橋 げんざぶろう 源三郎	1 大谷公園のプール跡地を体力作りの場として活用できないか 2 集落内の住宅空き地に繁茂した雑草の除去について	P.15
9 やまもと 山本 ひでき 秀喜	1 中山間地の農業を持続可能にしていくには 2 町の公共施設に「施設マネジメント」を取り入れてはどうか	P.16
10 ゆのき 柚木 きくお 記久雄	1 会津若松市交流市町災害時相互支援協定について 2 甲賀市から供給を受ける南比都佐地区の上水道の区域外供給について(その2)	P.17
11 なかにし 中西 けいこ 佳子	1 地域公共交通の活性化施策について 2 災害に備えた対応策の整備について	P.18
12 かとう 加藤 かずゆき 和幸	1 会計年度任用職員にも人事院勧告の遡及を 2 除雪・除草に見る高齢化と集落のあり方は	P.19
13 のや 野矢 たかゆき 貴之	1 中高生以降に地域と関われる仕組みは十分にあるか	P.20

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。  
(ライブ中継・録画中継)

一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



一般質問の  
録画視聴ができます



一般質問の配付資料を  
ご覧いただけます



問 「チョイソコひの」を発展させていくためには  
どのような視点が必要か

答 「チョイソコひの」は人と人のつながりをつくるツールであると考えている



たにぐちともや 議員  
谷口 智哉

問 ①「チョイソコひの」を今後どのような公共交通として育てていきたいのか、どのような存在にしていきたいのかを伺う。

②6月の一般質問では「チョイソコひの」は手段であり、いかに有効に活用していくかが重要だと答弁があったが、高齢者の外出支援や社会参加、認知症予防といった健康づくりへの具体策を現段階で検討しているのか。

また、保険事業や介護予防事業と「チョイソコひの」を組み合わせた取り組みを今後どのように広げていく考えなのか伺う。  
③現在利用していない町民にも、介護予防等の観点から利用を促していかなければならないと思うが、どのように考えているか。  
④「チョイソコひの」を単なる移動手段にとどめず、町民の暮らしや健康、社会参加を支える仕組みとして発展させるために、町として大切にすべき視

点は何だと考えているか。

答

①町では「日野町画」を策定して、若い人も高齢者も、親子連れも来訪者も、だれもが利用しやすい公共交通をみんなが利用しているまち・日野町を将来像と掲げ、利便性の向上に必要な取り組みを推進している。  
その取り組みの一つとして「チョイソコひの」があり、高齢者の外出機会の創出による健康維持、また免許返納後の移動、介護予防事業や生涯学習事業などのさらなる連携を図り、人と人とのつながりをつくるなど、移動を通じた多面的な効果を生み出す役割を目指していきたいと考えている。  
②県、運業者、関係課等で構成する「チョイソコひの」ワーキンググループで協議している。今年度は生涯学習課と連携して、公民館のスマホ教室の際に、スマートフォン

問 総合計画の実現の為に職員がやりがいを感じることは重要ではないか

答 職員のやりがいや総合計画に掲げる将来像に向けた推進力になると考えている

問

①行政の仕事は住民福祉の向上のため

「チョイソコひの」を予約する事業を行った。今後も効果的な事業が開催できるよう、引き続き関係課等と横断的に検討を進めていく。  
③長寿福祉課の窓口や出前講座でも紹介しているが、民生委員児童委員や社会福祉協議会とも連携して、高齢者をはじめ移動ニーズのある方に進めていく素地を今以上に作っていく事が利用促進につながるかと考える。  
④総合計画や地域交通計画に掲げる大切な移動手段であり、人と人のつながりをつくるツールと考えている。

答

①職員が町の課題解決やそのための

めに住民福祉に関するさまざまな課題を解決していく事であり、その際の判断や方向性を基準として第6次日野町総合計画があるものと理解している。そのうえで、職員一人ひとりが住民目線に立つて業務に取り組み、自らの仕事にやりがいを感じられることも重要だと思いが町長の考えを伺いたい。  
②総合計画を現場で具体化していく仕事は、単に事業を実施することにとどまらず、その過程で、職員が専門的な知識を蓄積したり、住民の皆さんとの信頼関係を築いたりしていくことも、住民福祉の向上や総合計画の達成にも大きな意味を持つと思うが職場としては「仕事の価値」としてどのように捉えているのか伺いたい。  
②業務の積み重ねによって生まれる知識や住民の皆さんとの関係構築といった点も、総合計画の達成に向けた大切なプロセスとして価値があるものであり、併せて、職員自身のスキルアップと成長の機会であると考えている。指標にすることは難しいが本人の目標と達成の振り返りによってプロセス・積み重ねの努力も評価・共有できるものと考えている。

「チョイソコひの」  
関連ページ



# 問 時代に合った文化財保護のあり方を問う



答 文化財保護への人材育成とその環境整備を進めたい



ごとう ゆう き  
後藤 勇樹 議員

## 問

一般質問で文化財の保護振興について問うのは9回目となるが、当町における官民協働での文化財発掘、文化の継承、その担い手育成等の取り組みは称賛に値すると感じる。しかし

- ③ 小中学校での「日野の課横断的な取り組みはしているか。
- ② 令和4～5年に開催された各地区でのワークショップでは、景観や小動物等までも文化財と認識されていることが分かった。これらの保全に各課横断的な取り組みはしているか。
- ① 行政が関与する文化財(91件)の管理体制を伺う。
- また国指定重要文化財である正明寺本堂・檜皮葺大屋根改修をはじめとした文化財保護修繕等の補助金について、現在500万円とする要綱上限をひきあげられないか。
- ④ 当町では日野祭囃子やコーラス、雅楽、絵画、写真等、多彩な文化活動が根付いており、町民の理解も深い。町外への発信力を強化すれば、文化芸術愛好家に向けた移住定住促進の一助になるのではないか。
- ⑤ 「日野のたからサポーター養成講座」受講者の状況、修了者の今後の活動やその支援体制を伺う。
- ⑥ バスや乗り合いタクシーによる町内文化財周遊コースの設定、多賀大社や太郎坊宮拝観等と連携するような、近江鉄道沿線自治体間の協力推進、寺社の境内や厨等を利用した祭囃子や雅楽等の演奏会、写真や絵画展等の開催等、文化財と観光誘致の連携を図れないか。

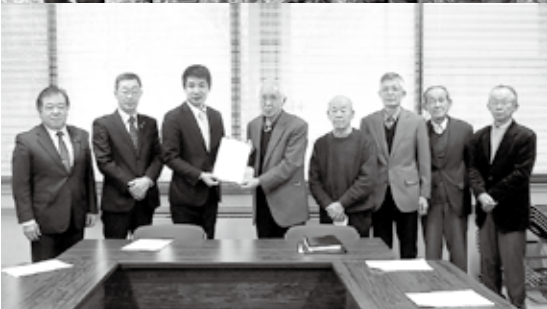
## 答

① 指定文化財は大発生直後に点検している。

- ② 河川への魚道設置、町道西大路鎌掛線改良工事での法面への植生工法採用等、生態系保全に取り組んでいる。
- ③ 小中学校では「ふるさと日野学習」を実施し、学校、保護者、地域、行政が連携して自然、歴史、産業、伝統文化への学びを深め、小6生では地域課題を見つけ「たから」を活かしたまちづくり提案を行っている。教員へは地域コーディネーターを迎えた現地研修の他、隔年で新任教員研修を実施している。
- ④ 町外への発信力強化は、ご指摘通り交流人口拡大、移住定住促進につながる。周知、発信方法を研究したい。

⑤ 日野のたからサポーター養成講座へは7年度(全8回)39人、のべ237人に受講いただいた。修了者には文化財の調査、事業の企画や運営等で活躍していただく予定で、支援体制も整えた。

- ⑥ 令和9年度末の完成を目指し、日野の歴史文化発信の総合情報サイト「日野のたからデジタルミュージアム」の制作を進めている。また令和9年度にはJRのデスティネーションキャンペーンも予定されている。役場各課、日野観光協会、近江鉄道やJR等の交通事業者等と連携して公共交通を考えた文化財周遊ルートを活かした文化財周遊ルートを考案していきたい。また寺社における演奏会、展示会開催はユニークベニューとして文化庁でも推奨されている。観光客はもとより、町民が文化財に触れる格好の機会として検討したい。



三日月知事、堀江町長、安田教育長に文化財修繕等の早期着手、補助支援等に向けた要望書を関係者ととも提出させていただきました。

問 シニアが輝けるまち日野町のこれから

答 シニア世代の活躍の機会を積極的につくっていきます



ふくなが あきひと  
福永 晃仁 議員



▲シニアライフ総研®独自の6つのカテゴリ

「町が輝ける町」だと考え、町の施策を4つの観点からお聞きします。

問 シニア世代の皆さんの経験と知恵は

答 ① 福祉部門では「出番」や「役割」を創り出していくことを意識し、老人クラブやシルバー人材センターとの連携を含めた取り組みを進めていきます。

② 地域共生部門では社会福祉協議会に委託実施している「地域づくり事業」地区担当のコミュニティソーシャルワーカーの配置を含めて、「お互いさま」の関係性を築き取り、取り組みを進めていきます。

③ 学校教育の現場では、ふくさと絆支援員のコーディネートによる地域学校協働活動の展開。社会教育の観点からは各地区公民館活動などを通じた取り組みの中で社会参加の機会をつくっていきます。

④ まちづくり部門では自治会のこれからの在り方を考える上で、シニア世代の経験や知恵を活かした取り組みを含めて、活躍いただける機会を積極的につくっていく必要があると考えています。

問 日野町の農業と非農家の役割

答 農業は生活基盤を意識し、地域全体で守る風土づくりを進めます

問 まちづくりの土台を担ってきた農業。従事者の高齢化や担い手不足が進む中、草刈りや水路管理など基盤的作業の継続が大きな課題となつていきます。農業従事者の「次世代の担い手」創出へのアプローチに加え、非農家や会社員、子育て世代も含めた「支え手」を増やす仕組みづくりが重要であると考えています。

答 現状を踏まえて① 食料提供という基本的な役割に加え、地域経済の基盤形成、農地の保全による防災機能、景観や文化の維持など多面的な役割を果たしてきて認識しています。現在の問題点としては農業従事者の高齢化等による担い手不足、鳥獣被害や農地の健全な維持が挙げられます。

① 農業が果たしてきた役割と重要性、現在の課題をどう認識しているか。

② 非農家や働く世代でも参加しやすい登録制・マッチング型の保全活動の仕組みづくりについて、今後検討する考えはあるか。

③ 農業および農地保全活動への参画を、関係人口の創出や少子化対策と連動させる可能性についてどのように考えているか。

② かつて集落で多数を占めていた農家が減少し、非農家の役割を含めて多様な主体が参画する仕組みづくりが重要となります。世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策（多面的機能支払交付金制度）の活用。国や県との連携を踏まえた民間開発のマッチングアプリの周知。農業分野におけるスポットワーク活用についての研究を含めて多面的



→ 地域全体で守る仕組み作りが重要

なアプローチを進めていきます。

③ 農業等を関係人口創出や少子化対策と結びつけた施策については、田舎暮らしや農ある暮らしを求めておられる方と地域との間に継続的な関わりを生み出す有効な手段になり得ると考えます。農業および農地保全活動は生産活動であると同時に地域コミュニティを形成する基盤でもあり、今後こういった施策が有効か研究してまいります。



# 問 持続可能な公民館運営について

**答** 地区公民館は、引き続き地域の「核」として、学習の場だけでなく、地域福祉、防犯・防災や自治会活動などの、住民の活動拠点として位置づける



かわひがし あきお  
**川東 昭男** 議員

## 問

各地区公民館長・運営委員長と日野町議会総務常任委員会との意見交換会が必佐公民館で開催されました。公民館側14名、議員8名それぞれ全員が出席のもと「持続可能な公民館運営について」意見交換しました。

去る2月12日



その内容を踏まえて、7つの地区公民館運営や将来の位置づけについて、町はどのように考えているのか。  
①中央公民館の役割・活動体制はどうか。  
②人口減少・少子化・超高齢化の中、持続可能な公民館運営をどのように位置づけていくのか。

③公民館運営経費への補助金の増額及び地区協力金について、どのような見解をもっているか。  
④公民館主事の正規職員配置の要望についての見解は。

⑤災害時の避難所である公民館の場所は適切か。必要な機能は整っているか。小学校など他の避難所との棲み分けは。訓練など具体的な取り組みは。  
⑥「日野町立地区公民館長寿命化計画」について、計画から5年が経過し、各館は全て30年を経過しています。現状において、各公民館の施設の状態の評価と対策は。

## 答

①中央公民館は、地区公民館の活動を支援するコーディネート機能と考える。中央公民館主事は、現在は配置していない。令和8年度は公民館大会を30年ぶりに開催する。  
②地域の核として引き続き、学習の場だけではなく、地域福祉、防犯・防災や自治会活動などの、住民の活動拠点として位置づける。

③町補助金は、公民館の運営状況や人件費等を毎年度見直し、交付している。地区協力は、各地区で協議し決定されている。町としては、令和8年度に向け、事業費と別に加算型補助金を創設し、新たに各地区の特色を生かした事業に補助をする予定。

④主事の正規職員化は、町の限られた職員数の中で、多くの行政ニーズに対応している。国の施策を活用した「集落支援員制度」の導入などを含め、どのような配置が可能か、今後、組織全体で検討していく。

⑤立地については、ハザードマップに基づき概ね適切と判断。機能は、空調設備、初動対応のための、飲料水、アルファ米、日野町防災アプリのタブレットを配備している。小学校等との棲み分けは、大勢を受け入れる小学校体育館に対し、公民館は「地区全体のとりまとめ拠点」と位置づけている。



⑥公民館施設が築30年を超え、経年劣化が進行している。特に、建物の空調設備の老朽化や電気設備の更新、照明のLED化など付帯設備においては、老朽化が顕著に見られる。町全体の公共施設の優先度や緊急性を踏まえ、順次改修・更新工事を進めている。

## ◆要望とつづ

率直に申し上げると「人口減少」で、町が小さくなっていくのに公民館は7つ必要か。「少子化・超高齢化」、「役員になり手不足」の中、どのようなまちづくりを進めるのか。日野町の将来を見据えた財政事情はどうか。今後、日野町の公共施設すべてを維持できるのか。こうした不安があります。

町長が思う、今後の「日野町のまちづくり」の中で、地区公民館をどのように位置づけられるのか、大きなポイントだと考えます。

これまでの公民館の歴史は、日野町の「宝」と思っています。是非、公民館を核とした、生涯学習・社会教育の拠点自主的な自治会の課題解決を図る場として持続可能な公民館運営をして頂きたい。

その為にも、公民館主事の正規職員化を図っていく時期に来ているのではないかと思います。

# 問 オーガニックビレッジ宣言をして何をするのか

答 慣行農業と有機農業との調和を大切にしながら持続可能な農業の実現



まつだ ようこ 議員  
松田 洋子

## 問

令和8年1月17日  
日に「環境との調和を目指す日野町オーガニック・フォーラム」が林業センターにて開催され、堀江町長がそこで「日野町オーガニックビレッジ宣言」をされました。

①日野町がオーガニックビレッジ宣言をして何をしようとしているのか伺います。

②有機JASの認証取得や認証更新の費用援助はしているのか伺います。

## 答

①生産者をはじめ、町における有機農業の取組を広く発信し、有機農業に対する理解を広めていく。化学合成肥料から有機質肥料への転換を図ることで、更なる地域資源の活用を目指し、環境負荷低減に取組む。流通や消費の分野では、慣行米との差別化した販路の開拓や公共調達における活用についても検討を進める。現在、有機農業に

取組まれている生産者が少ないので、生産者数、取組面積を増すため関係機関と連携し助言やサポートなどを進める。町の農業を守っていくには従来からの慣行農業、環境こだわり農業も非常に大切なものと捉えており、有機農業との調和を大切にして持続可能な農業の実現をしていく。

②みどりの食料システム戦略推進交付金を活用して令和7年度より支援し、令和8年度も実施する。

### オーガニックビレッジとは

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める自治体のこと

## 問 少子化・こども未来戦略の施策は

答 病児保育事業利用者支援・見守りを兼ねたおもむつ配布等

## 問

①令和6年9月議会  
会で「少子化対策をどのよう  
に考えているか」という一般質問に対し「令和6年5月1日に設置した日野町少子化対策・こども未来戦略会議での検討を踏まえ、少子化対策と子育て支援の充実に努める」と回答されて、2年近くも経過しているがこの間に議論してきた具体的な内容を伺います。

②令和10年度から新こども園では、病後児保育が実施される予定ですが、病児保育と病後児保育の違いを伺います。

③子ども子育て支援事業計画の中にも、病児保育の実施を計画として上げている。

④日野町では都市計画により、市街化区域と市街化調整区域があり、調整区域で家を建てられないから、日野町内から町外

に家を建てるという話を聞くが、町として住むところの確保をするということに関しての考えを伺います。

## 答

①令和7年度からの取組みは、LINEを活用した子育て情報発信・雨天や暑い日の公民館や図書館の空きスペースの開放事業、8年度からは病児保育事業所利用者支援・見守りを兼ねたおもむつの配布・遠方の分娩取扱施設への交通費および宿泊費補助・不妊治療費助成などを予定している。

②病児保育は、風邪、インフルエンザ、発熱している、感染症等医療的管理が必要な子どもさんが対象です。病後児保育は病気の回復期にあり、集団保育が困難な乳幼児が対象です。

③子ども子育て支援事業計画の中にも、病児保育の実施を計画として上げている。

④市街化調整区域に家が建てられないのではなく、市街化区域より市街化調整区域の方が家など建物を建てるための条件が厳しいということ。町としては令和7年度に、調整区域でも誰もが家を建てられるよう規制緩和を知事に要望している。



# 問 子どもの熱中症対策について

答 現場対応を行いながら今後も対策を進める



にしきど ゆか 議員  
錦戸 由佳



## 問

昨年の猛暑を受け、登下校や学校生活における子どもの安全確保や学校での対策など、町の取り組みについて伺います。

- ① 登下校や学校生活での子どもたちの体調不良の状況と熱中症対策は。
- ② 徒歩通学児童の安全性の確保は。
- ③ 夏季に限定した学童輸送の可能性はあるのか。
- ④ 令和8年度に各小学校へ導入予定のウォーターサーバーの設置・運用について。

## 答

① 各小学校では、水分補給などの対策を徹底しており、これまで重篤な症状となった児童は出ていない。

- ② 暑さが厳しい場合は下校時間を遅らせることや保護者の方々にお迎えをお願いするなど対応していく。
- ③ 交通資源の不足から現時点での実施は難しく、今後、学校や保護者と協議していく。
- ④ 令和8年度に各小学校へ1台ずつ設置予定をしている。定期的にフィルター交換などを行い、適切な衛生管理に努め、台数に不足が生じた場合は追加も検討する。

## ◆要望として

子どもが自分で身を守る力を育てることは大切ですが、それを支える環境整備も同じくらい重要です。子どもの命を守るため、引き続き対策の充実を求めます。

# 問 公民館開放事業「ひのっころーむ」について

答 利用ニーズに応じた運用の見直しを検討

## 問

令和7年6月から土・日曜日の9

16時に各公民館の空き部屋を開放し、天候や気候の悪い日の子育て世代が親子で過ごせる居場所として実施している事業について伺います。

## 答

① 子育て世代へのアンケートでは、

雨の日に遊び場がないとの回答が77.3%あり、屋内の居場所へのニーズが高い一方、利用は少数にとどまっている。



## ◆要望として

今後は制度や事業があるだけでなく、ニーズをしっかりと把握し、対象者となる子育て世代の方々に「使われる居場所」であることが大切で

引き続き、利用しやすさの向上に向けて、案内表示や情報発信の見直しも含めて初めて利用する方にも分かりやすい居場所となるよう今後も利用者目線での改善を求めます。



←夏の登校の様子



←開催日お知らせのチラシ

# 大谷公園のプール跡地を体力作りの場として活用できないか



たかはし げんざぶろう  
高橋 源三郎 議員

答 ランニングコースの明示等の整備を検討している



## 問

大谷公園の一角にあった町民プールが廃止され、その後解体となり、今では一面に砕石が敷かれ公園利用者の臨時駐車場になっています【写真参照】。

しかし、私はこうした状態は非効率で勿体ないことだと考えます。限られた公園面積ですから有効利用すべきだと思えます。

そこでここを町民の体力作りの場として有効活用できないかと思う訳です。大谷公園は大人の利用は多いのですが、家族連れや小さな子どもたちの遊び場所も必要です。

それと同時に、いま町民に一番必要なのは体力づくりをするための広場だと思います。この場を町

民が楽しみながら体力作りができる場として、何か考えられないかと思えます。

町民からアイデアを募るのも一つの方法かと思えますが、例えば子どもが喜ぶ「トランポリン」や「ロングすべり台」、「ターザンロープ」等、また大人でも「アーチェリー（弓道）」や「バスケットボールのゴールの練習場」等、こうした遊具の候補は色々考えられます。そして、いま町民がいちばん何を望んでいるのかを知る必要もあります。建設計画課では住民にアンケート調査をされましたが、私は小学生や中学生の意見を聞くことも大事かと思えます。このプール跡地の利用計画があら

まら伺います。

## 答

大谷公園については、こどもまんなか公園づくり支援事業を活用し、来年度から公園の一部を改修する予定です。改修の内容につ

## 問

集落内の住宅空き地に繁茂した雑草の除去について

答 改善が図られないようなら町に相談してください

## 問

日野町には「日野町環境美化に関する条例」が定められており、第2章第7条には空き地の所有者または管理者は、当該空き地を適正かつ良好に管理しなければならぬとされています。この条例に基づき、雑草が繁茂した土地の所

では、今年度実施したアンケート調査の結果を基に、まずは築山を利用し、小さな子どもが遊べる空間を作る予定をしております、体力づくりの場となる計画としては、ランニングコースの明示等の整備を検討している。

大谷公園については、引き続き施設の長寿命化対策に取り組んでおり、こどもまんなか公園づくり支援事業とあわせて、利用しやすい公園となるよう整備を進めていく。

所有者または管理者は、その土地に雑草が繁茂した場合定期的に除去しなければならぬとされています。例えば日野町では昭和40年代から50年代にかけて宅地造成が行われましたが、この宅造地の中を見ても、場所（区画）によっては雑草どころか背の高い松や雑木が生い茂っているところがあります。また宅造地でなくても町内集落の中にも、そうした雑草が生い茂った空き地が見られます。

実は蓮花寺にある空き地も全く管理されておらず雑草が繁茂し、今では背丈が2m〜3mにもなる雑木が繁っています。空き地というのは管理をしないと数年でこういう状態になり、更にはネズミやイタチ等の小動物の住処にもなります。こうした状況は景観上

よくないばかりか危険であり、条例にも違反しています。所有者を調べて区から区長名で草刈りの依頼を出しても何の音沙汰もないのが現状です。役場から雑草除去の通知を出されていると思いますが、この場合どういった対策が考えられるでしょうか。町の考えを伺います。

## 答

日野町環境美化に関する条例にて「所有者または管理者が空き地を適正かつ良好に管理し、不良状態にならないようにしなければならぬ」と定めており、住民より相談があれば所有者等を調査し、条例にもとづき空き地を適正に管理するよう通知を出しています。今回自治会で対応されているが、改善が図れない場合は町に相談してください。

日野町環境美化に関する条例にて「所有者または管理者が空き地を適正かつ良好に管理し、不良状態にならないようにしなければならぬ」と定めており、住民より相談があれば所有者等を調査し、条例にもとづき空き地を適正に管理するよう通知を出しています。今回自治会で対応されているが、改善が図れない場合は町に相談してください。

# 問 中山間地の農業を持続可能にしていくには

## 答 「大区画化等加速化支援事業」の活用を検討していく



やまもと ひでき  
**山本 秀喜** 議員



**問** 町の中山間地の農業をどう守っていくのか。平場の圃場では生産性が向上し、中山間地では人手、コストもかかる「農業労働力の高齢化+農地荒廃の進行+中山間地の支援おいてけぼり」農業集落の存続危うい」となり得るわけです。このような状況を見過ごすことはできません。

**答** ①中山間地域は、農家数の減少や農業従事者の高齢化等が顕著であり、早急な対応が必要です。



今年の育苗作業の様子

こうした危機的な状況を脱していくには、中山間地においても儲かる農業、作りやすい農地にしていくこと、多様な担い手の確保が重要になってきます。そこで町の農業の①現状認識②広域的に修繕が進められる支援施策③作りやすい農地にしていくための施策④新たな担い手確保について伺います。

**◆要望として**  
国が進める「大区画化等加速化支援事業」が日野の中山間地で使える所が少ないことを指摘、もっと中山間地に見合う制度の改善を要望しました。

施設名	建築年度	経過年数	延床面積 (m <sup>2</sup> )	有形固定資産減価償却率 (%)	整備方針	形態
西大塚幼稚園	H2	35	531	99.0	子育て支援施設 学童保育所等	転用
こぼと園	H26	11	810	27.0	幼保連携型認定こども園	こども園
あおぞら園緑地分園	H3	34	408	96.0	みらいしゃくなげ保育園 が運営	民営
南比都依幼稚園	S59	41	676	100.0	小規模保育施設	民営化
あおぞら園	S63	37	706	100.0	令和10年4月開園 新こども園建設予定 新幼保連携型認定こども園	こども園
日野幼稚園	S60	40	1043	100.0		
必佐幼稚園	S58	42	1160	100.0		
保谷こども園 第1園舎 (旧幼稚園)	H2	35	371	99.0		
保谷こども園 第2園舎 (旧保育所)	H2	35	515	99.0	幼保連携型認定こども園	こども園

※有形固定資産減価償却率とは、有形固定資産のうち、土地以外の償却資産（建物や工作物等）の取得価格に対する減価償却の割合です。  
この比率が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示し、施設等の老朽化が進んでいると判断できます。  
※日野町認定こども園整備基本構想（令和7年8月）より作成

町には老朽化している施設が多くあります。その一部、子育て支援施設の調査をした表です。



右の二次元コードから読み取れます。

生徒数が減少し続けている状況に加え、施設の老朽化が進行していることから、教育環境の向上と財政負担の軽減を同時に達成しなければならぬ重大な課題だと考えています。

③公営住宅施設は、令和8年度に第2内池団地から長寿化に向けた設計業務に着手する予定です。

**問** 町の公共施設の多くは、既に30年以上経過している建築物が全体の約60%を占めており、これら施設の老朽化対策(長期的な視点で、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うこと)を進めていくために「公共施設等総合管理計画」があります。

今後、人口減少や少子高齢化の進行により、保有する全ての施設を更新していくことは財政的に

**答** ①子育て支援施設は、幼稚園や保育所、子育て支援施設②学校施設③公営住宅施設について伺います。

①子育て支援施設は、幼稚園や保育所、子育て支援施設②学校施設③公営住宅施設について伺います。

②必佐小学校は、築40年以上経過し老朽化が著しいことから、改修検討委員会を設置し、長寿命化改修を検討しています。

学校施設の「施設マネジメント」は、学校の児童・生徒数が減少し続けている状況に加え、施設の老朽化が進行していることから、教育環境の向上と財政負担の軽減を同時に達成しなければならぬ重大な課題だと考えています。

**問** 町の公共施設に「施設マネジメント」を取り入れてはどうか

**答** 新こども園で「施設マネジメント」に取り組んでいく

# 問 会津若松市交流市町災害時相互支援協定について

答 発災時に友愛の精神で支援する 今後拡大していきたい



ゆのき きくお 議員  
柚木 記久雄



## 問

去る令和7年7月9日に会津若松市が中心となった同市ゆかりの12の自治体が災害時相互支援に関する協定に我が町も参加し協定を締結したと聞きましたが、

- ①その趣旨や内容ねらい、また発災時に当町役場の動きについて尋ねます。
- ②協定を締結された12市町のうち、長野県伊那市、神奈川県横須賀市、徳島県鳴門市の3市においては今まで当町と交流実績がないと思いますが、もしもの際は車両だと道路事情が許せば6時間以内に応援に来てもらえる可能性があります。日野町での発災のとき応援体制に組み込まれているのかどうか尋ねます。
- ③令和6年1月の能登半島地震は年始にもかかわらず担当課の職員が現地へ奮闘してくれましたが、繁忙期に依頼があった場合はどうしますか。
- ④三重県松阪市とは「蒲生氏郷公ゆかりネットワ

ーク共同宣言」を3市町で交わしているが、防災面への発展を検討できませんか。

⑤さらに昨年12月に大阪府泉大津市と「農業を通じた連携による持続可能なまちづくり」に関する協定を締結されたが、こちらとも災害時支援の協定に発展できないでしょうか。

## 答

①本協定は地震、風水害、原子力発電所事故等の災害発生時に友愛の精神に基づき相互に支援を行い被災自治体の住民生活の早期回復を図ることを目的としています。食料、飲料水、生活必需物資の提供、資機材の貸与、応急復旧に必要な職員の派遣を想定しています。

②当初は避難所運営の補助や物資輸送を優先しつつ段階的に給水活動や罹災証明書発行業務も割り振りも想定しています。今後協定市町間で調整を図ってまいります。

## 問

甲賀市から供給を受ける南比都佐地区の上水道の区域外供給について(その2)

答 水道事業の独立採算を基本とし関係地区と連携して対応にあたる

## 問

この質問は昨年の9月議会でも取り上げましたが改めて伺います。

①令和7年10月に、甲賀市役所と日野町役場の関

係者でこのことを含めた協議が行われましたが、その結果がどうであったか報告を求めます。

②町長や私も出席したある自治会の新年行事でも不具合解消に向けたいろいろ具体的な要望や提案が出されました。今年1月30日に行われた関係区長と日野町役場上下水道課との懇談会でも従来の枠を超えた提案がなされています。具体的な現状打開の第一歩を地区内の住民も求めています。今後の対応方針について町の考えを尋ねます。

## 答

①「南比都佐地区(下駒月)における上水道の適切な維持管理について」の要望書を提出し水道事業者の責務として早期着工するように要請しましたが、管内に多くの老朽個所があり市内から優先的に対応しているとのことでした。

②町の基本方針としては、これまでと同様、独立採算による地方公営企業である水道事業は事業者の責務において対応するという基本理念のもとに、関係地区の皆さまと連携を図り、早期着工されるよう取組みを進めていきたいと考えます。

③あわせて日野町南部や西部エリアで諸々の情勢の変化で大型の住宅団地や、工業団地、郊外型ショッピングモールの計画が上がってきたとき、水道需要に対する供給はどのように行われるか伺います。

③進出される事業所等の規模により水道需要は大きく異なるため、具体的な計画協議のなかで、対応を進めてまいります。



# 問 地域公共交通の活性化施策について

## 答 運賃の設定状況、方向性や見直し時期等検討中



なかにし けいこ  
中西 佳子 議員

### 問 町では「日野町地域公共交通計画」を策定され、活性化施策として19事業が掲げられている。地域公共交通の課題解決や町民ニーズへの対応は進んでいるか。何点か伺う。

- ① 町営バスの運賃体系の見直し状況はどうか。
- ② デジタル乗車証など支払い方法の利便性向上は進んでいるか。
- ③ 通学定期券の購入に対する補助支援制度の導入について研究状況は。
- ④ まちなか交通拠点のターミナル機能の向上や乗り換え案内等充実しているか。

### 答

① 他市町のコミュニティバス  
ニティバスの運賃の設定状況や関係課、運行事業者と方向性や見直し時期等の検討を進めている。

② カーフリーダーや日野ひな祭り紀行等の開催時にデジタル無料乗車券として発行している。その

他の乗車証は費用対効果を含め研究を進めていく。

③ 県内市町の制度等の研究とともに、日野町から近江鉄道や近江鉄道バスを利用して通学されている学生の人数や通学定期券の販売枚数を確認し、公共交通の利用促進も踏まえた補助支援制度を研究している。

④ 乗換案内は現在、日野町営バス3路線のバス停留所がある役場で案内している。まちなか交通拠点のターミナル機能の向上については、町内の地域公共交通ネットワークの再編とあわせ、運行事業者とも連携して研究する。



# 問 災害に備えた対応策の整備について

## 答 公共施設では、消防法に基づく避難訓練を実施している

### 問

南海トラフ地震は今後発生する確率が高く災害対策が進められています。町でも「日野町地域防災計画」に基づき防災減災対策が進められているところですが、町の取り組みについて何点か伺う。

① 公共施設の避難訓練状況は。

② 役場庁舎に来庁されている方の安全のため、特に1階にはヘルメットなど配備されてはどうか。また防災自動販売機なども有効だと考えるがどうか。

③ 避難所の運営について、住民が主体的に参画できるように避難所初動マニュアル等の配備状況は。

④ 避難所の環境改善に欠かせないのがトイレ問題です。自動ラップ式トイレやマンホールトイレへの町の見解は。

### 答

① 消防法に基づく火災訓練、地震発生を想定した避難訓練を定期的に実施している。

② 避難経路や住民誘導の動線シミュレーション等により、ヘルメットの設置場所も検討を進める。災害対応型自動販売機については、設置済みの機器の更新時期や、飲料メーカーおよび管理者への相談を含め、研究している。

③ 有事の際には住民が主体となった、円滑な避難所運営を実現するため、各避難所への事前配備に

ついて検討する。

- ⑤ 感震ブレイカー設置について、町は感震ブレイカー設置促進事業補助金を交付事業をされていますが、この事業の経緯と実績の無い原因、また今後の取り組みを伺う。
- ④ マンホールトイレは建設費用や発災時の管路破損リスクの課題があり導入に至っていない。ラップ式トイレの導入に向けて、情報収集したい。
- ⑤ 住民の皆様の生命と財産を電気火災から守り、安全な生活環境維持を目的に事業を開始した。補助対象者が限定的、制度自体の周知不足と考えている。今後は、対象者の要件緩和の検討と制度の周知徹底を図り普及促進に努める。



問 会計年度任用職員にも人事院勧告の遡及を



かとう かずゆき  
加藤 和幸 議員

答 当初契約で扶養認定や勤務の変更を避ける

問 昨年12月定例会議で「会計年度任用職員

の給与および費用弁償にかかる条例の一部を改正する条例」が可決された。この条文では会計年度任用職員のみ（人事院勧告を受けて）当該年度の4月1日に遡って適用される規定については、これを適用しない」と書き加えられた。総務省の通知では「実施時期を含め」「常勤職員に準じて改定することを基本」としており、他市町の多くが4月遡及とし、当町でも昨年度まで遡及していたのを変更したことについて伺う。

①当町では昨年度まで遡及しており、他市町の多くが遡及している中で、不遡及の理由は何か。  
②施行期日等は「付則」の記述が多いが、「本則」への記述で恒常化される。そうした理由を伺う。  
③扶養控除との関係で不遡及にした、とあったが該当する方は何人か。他

の多くの職員を遡及させられなかったのか。  
④来年度以降の職員確保にマイナスの影響がないか。

答

①会計年度任用職員の雇用は会計年度が単位で、年度当初に雇用契約を結ぶ。雇用期間中の給与改定は扶養認定から本人の働き方に影響を及ぼし、勤務時間の変更など職場にも影響が及ぶ。  
②より安定的な給与体系となるよう制度設計したものである。  
③令和6年度の場合、305名中21名であったが、個別対応は難しい。  
④影響は計りかねるが、現在のところ、給与面の処遇を理由に退職される方は聞いていない。



問 除雪・除草に見る高齢化と集落のあり方は

答 継続できる方法を考え課題解決に向けた伴走を行う

問

「昭和」の時代、農村では自分の家屋敷や田んぼを中心に除雪や除草を行い、働き手のない家の周りは、近所の住人が援助し、役員や消防・自警、若者がカバーしていた。みんなで除雪する中で、意識化されなくてもそこに集落の自治意識や共助の精神があった。  
今、過疎化・高齢化で除雪や除草は行政懇談会の要望事項の中でも大きなウエイトを占める。近年の一般質問から現状がどうなっているかを伺い、現代における集落自治のあり方を町長に伺いに考えてみたい。

①除雪機購入補助はどの程度活用されているか。  
②融雪剤の自治会配置は可能になったのか。  
③ボランティアによる除雪が困難な集落の途切れ

答

①平成29年度に2件、30年度に1件の申請があったが、近年はない。  
②融雪剤は雪寒計画に基づき、町内60ヶ所に設置。集落の町道が凍結し、必要な場合は役場で渡している。使用期限はない。  
③集落の途切れたところ

の対策はできていない。

④除草であれば、大型機械の使用で専門的な方に広範囲を作業いただけ安全で効果的な作業が可能。除雪は草刈り機タイプの除雪機を活用することで簡易な作業が可能。  
⑤除雪や除草など、継続できる方法や取り組み方を自治会で考えられることで、なぜこの事業をするか、なぜこの範囲が必要かなど本質を確認することができ、整理ができるのではと考える。

町にもご相談いただければ、課題解決に向け伴走して参ります。





# 問 中高生以降に地域と関われる仕組みは十分にあるか

答 若者の「関わりしろ」を増やしSNS発信をしていく



の や たかゆき  
野矢 貴之 議員



**問** 統計データでは日野町から20代の流出が顕著で、人口減少の大きな要因となっている。また「二十歳のつどい」実行委員からは「地域との関わり方がわからない」という声があった。さらに、町の事業を年代やジャンル別に表で可視化してみると中学生以降の「参画」や「目」「実現」の場が手薄だ。中学生以降、地域と継続的に関われる仕組みは十分に用意されているか。

**答**

十分とは言えない。中学生以降は地域との接点希薄になりやすい。現在は公民館ボランティア、中学生の職場体験、日野高校の「日野チャレ」やコミュニティ

イ・スクールを通じて地域と若者をつなぐ仕組みを模索している。

**問**

日野町子ども会指導者連絡協議会(町子連)が解散する。アドベンチャーキャンプなど、子ども体験の機会と、中高生リーダー育成の機会を失うこととなる。このギャップをどう埋めるのか。

**答**

今年、日野町内から日野高校に進学するのは26%で、4分の3は他の進路になる。つまり中学卒業までに地域に参画することが重要だと考えている。「あつまれひのつこわくわく探検隊」という新事業で、小中学生に成功体験をしてほしい。



## 今回の質問で明らかになったこと

現状分析	令和8年度は
<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生以降は地域と関わる仕組みが不十分</li> <li>人口流出に関係しているかもしれない</li> <li>日野町行政内では対象年代別・テーマ別に事業を横断分析や点検をしていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町子連に代わる新事業を展開する</li> <li>メールだけでなくSNSを活用していく</li> <li>子どもたちに実践の機会や「関わりしろ」を増やす仕掛けをしていく</li> </ul>

### ▼【事例】年代別に事業を可視化する表(MECE)

※MECE(ミーシー)＝物事を重複や抜け漏れなく整理・分類することで、問題を明確にするための論理的思考法のこと  
日野町行政では、予算編成時に話し合うことはあるが、この表のような年代別テーマ別での横断的な事業の整理・点検はできていない。

対象	事業 A	事業 B	事業 C	事業 D
小学生				
中学生				
高校生				
18～24歳				
25～39歳				
40～59歳				
60歳～				

**問**

「地域との関わり方がわからない」ことが人口流出を強めている可能性はないか。若者の流出を防ぐために令和8年度予算に反映されている具体的な施策は。

**答**

ある。令和8年度は「ひの若者会議」の継続支援や、地域おこし協力隊と関係人口創出のための制度設計を進める。若者が緩やかに集まれる「場」の構築にも研究していく。図書館では引き

**問**

「日野めぐる」はメールなので今時見られないのでは。

**答**

両方向は難しいがSNSを活用した情報発信をおこなっていく予定だ。

**問**

小中高の授業でのプレゼンをつくっていく。プレゼンで終わって

**答**

「やり切っていない」ところまですることが大事なので、アントレプレナーシップ教育(社会課題解決へ挑戦する力を養う教育)へ発展させていきたい。氏郷まつりにも「関わりしろ」をつくって子どもたちを巻き込む仕掛けをしたい。

# 問 日野町の水田農業の担い手の育成強化について

答 町独自の支援を進め、多様な担い手の確保に務める



にしざわ まさはる  
西澤 正治 議員

## 問

日野町の農業振興を図るために受け手となる集落営農や大規模農家をいかに経営強化するのか。国は主食である米生産の持続的な発展を構築するために農地の大区画やドローン、自動操舵式農業機械の導入などスマート農業を推進し、農業経営の生産性の向上を進めています。これを受けて県においても滋賀県の事情に応じた農業振興対策が実施されていますが、それをそのまま流すだけなのか、そうではなく日野町の事業に応じた施策として工夫し活用していくのか、日野町の農業振興は大きな分岐点を迎えています。私は、日野町における地理的、人的な課題や条件に応じた施策を講じるべきだと考えます。そのためには日野町の5年後、10年後の農地の姿、またその農地を誰がどのように担っているのかの姿を目標とする日野町の水田農

業振興ビジョンを策定し、国・県の支援に不足するところがあれば水田農業ビジョンに基づき、日野町独自の支援策を講じることが必要だと考えます。

日野町の農地を守り、農地を引き受ける担い手をいかに育成し、担い手の農業経営を持続可能なものとするための経営強化をいかに推進されていくのかを伺います。

## 答

農業従事者の高齢化が進み、今後、農地を守り農業振興を進めていくためには集団営農組織のように複数名で営農活動に取り組む体制を構築することも解決策の一つと考えています。また農村を守っていくためには小規模農家や兼業農家の存在は必要不可欠であり、集落営農組織や認定農業者等と合わせ、多様な担い手が相互に連携しながら進めていく必要もあると考えています。国や県で実施されている事業の内、有効なもの

は取り入れ、それとは別に町が個別に支援すべき課題については、支援による効果等も慎重に検討しながら重点支援地方交付金等、有効な財源の活用も視野に入れ、独自の支援施策を進めてまいります。

日野町の水田農業振興ビジョンについては、水田農業に焦点を当てた計画としては日野町農業再生協議会水田収益力強化ビジョンが挙げられますが複数年度の計画ではありません。しかしながら、水田作物ごとの取組方針等、日野町に応じた水田活用についての計画であることから、これを参考に今後、研究したいと考えています。



## もっと知りたい 知ってほしい 日野町議会のルール 議会の多数決

何年か前の小学生の議場見学での質問で、「いろいろ話し合いをしても全員一致とならないときはどうするのですか」という質問をいただきました。今回はそのことについて説明します。

### かはんすう げんそく 過半数の原則

いろいろ話し合っても決まらないときは、「多数決」によって物事を決定します。この「多数決」のことを議会では「過半数の原則」と言われています。

### かはんすう 過半数とは

計算方法は、全体の人数を2で割ってそれより多い整数となります。計算した数字が「9.5」なら「10」が過半数です。仮に計算してみますと日野町議会の議員定数は14人ですが、もし3人が病気などの理由で欠席があれば14-3=11人となり議長の分も除くと 11-1=10人が出席議員数となります。 半数は「5」で過半数は「6」となります。

### かはんすう きじゆん 過半数の基準



その議案を賛成するかを決定するには、出席議員数の過半数の賛成が必要です。この出席議員数には何らかの理由で欠席している議員は含まれません。また議長(委員会では委員長)もこの出席議員数の中に算入することはできません。

### さんびどうすう ばあい 賛否同数の場合

賛否が同数となれば、議長がどちらか決定する「裁決」をおこないます。なお議案によっては過半数でなく「3分の2」や「4分の3」の多数が必要な場合もあります。


# 議員のうごき

## 1月

- 5日 新年あいさつ会 議員全員
- 5日 日野町議会議員OB会新春懇談会 議員全員
- 11日 滋賀県消防協会日野支部消防出初式  
議長、副議長、総務常任委員長
- 19日～20日 市町村議会議員特別セミナー 錦戸、谷口、野矢、中西
- 27日 日野小学校6年生の学習成果の発表会  議員全員
- 27日 日野町農業委員会との懇談会  議員全員



## 2月

- 1日 進取のまちづくりフォーラム 議員全員
- 2日 正明寺修繕にかかる知事要望 議長、後藤
- 4日 必佐小学校6年生議場見学 議長、総務常任委員、錦戸
- 6日 二十歳のつどい実行委員会との意見交換会 総務常任委員
- 8日 日野町議会70周年記念事業「ギカイへ行こう!!」 議員全員
- 10日 2026「北方領土の日」県民のつどい   
副議長、総務常任委員長、産業建設常任委員長、議会広報常任委員長
- 12日 各地区公民館長・運営委員長との意見交換会 総務常任委員
- 15日 日野町連合青年会70周年記念式典 副議長




小学校6年生の学習成果の発表会 議員全員 

- 12日 南比都佐小学校
- 25日 必佐小学校
- 26日 西大路小学校



## 3月

- 1日 日野町消防団分団別火災防御訓練  
錦戸、福永、谷口、松田、川東、高橋、加藤、西澤、杉浦
- 4日 政策立案・政策提言研修会 議長、議会力向上特別委員
- 13日 駐ジョージア国大使応対 議長、副議長
- 17日 日野町都市計画審議会 福永、野矢、後藤
- 19日 町立小学校卒業式 議員全員
- 25日 第77回滋賀県町村議会議長会定期総会、町議会議長・副議長研修会  議長、副議長
- 30日 日野町議会と兵庫県養父市議会との合同研修会 議長、議会力向上特別委員



**議長公務** 日野町議会議長、滋賀県町村議会議長会会長、全国町村議会議長会副会長公務として 17件

**その他** 通常公務として日野町議会定例会議／臨時会議

一部事務組合(東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会)などがあります。

## 日野町議会と兵庫県養父市議会との合同研修会

研修会では、①議員のなり手不足改善に向けて②広報広聴の取組③議会の政策提言・評価・事業評価の取組④基本条例とこれからの地方議会の4つのテーマに添ってグループワークを行いました。

第2グループの広報広聴では、お互いの広報誌の強みを確認して、住民生活に馴染み、意識してもらえる議会だよりにすることが大切と確認しました。第4グループでは、これからの地方議会は住民と対話できる関係性を保ち、地域課題を認識し答えを住民と一緒に考え導き出す。そして、政策・施策提言し、結果・成果を出すことが求められる。その為に議員の発言力・質問力が必要であると学びました。



### 議長コラム

議長 杉浦和人



#### 議員一人ひとりが 質問力向上を

議員にとって本会議場での一般質問は、住民の期待を背負った極めて意義深い発言の場です。日野町議会では、年四回の定例会議で議長を除くほぼ全員が登壇し、その内容は議会だよりやインターネット配信を通じて広く公開しています。住民の皆様が開かれた議会を目指し、今お読みいただいているこの『議会だより』の充実や映像配信の実施など、議事の公開と情報発信に長年こだわって取り組んで参りました。

本来、一般質問は町政全般を問い、政策提案や住民の声を反映するべき重要な機会です。私は議長として、常々「質問の趣旨を精査し、何を求めるのかを明確にすること」「議員の能力である質問力を高めること」を求めています。しかし、先般の団体との意見交換の席上で「議場という公の場で議論すべき、政策提案や将来の方針に踏み込んだ内容となっているか」と一般質問の質について厳しいご指摘を頂きました。ご指摘を真摯に受け止め「見せる議会」に満足せず、内容の伴った議論を展開すること、そして議員一人ひとりが「質問力」を磨き直し、住民の付託に応える町政を前進させる実効性のある議会改革に今以上に邁進してまいります所存です。

### 6月定例会議(本会議)のお知らせ(予定)

- 6月1日(提案説明) 11日(質疑・一般質問)
- 12日・15日(一般質問)
- 24日(委員長報告・採決)

### 「議会だより」へのご意見を お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。



### 編集後記

2月8日に開催した日野町議会70周年記念事業「ギカイへ行こう!!」では雪降る、特に寒い日にもかかわらず町内外から多くの方にお越しいただきありがとうございます。展示やクイズ、ツアーを通して普段は見えない部分の議会を少しでも身近に感じていただけたのではないかと感じています。議会広報は情報を伝えるだけでなく、町民の皆さんと議会をつなぐ大切な役割を担っています。

今後も議会だよりを通じて、議会のこと、そして町のことをより多くの方に知っていただけるよう、取り組んでまいります。 谷口 智哉

# 議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公園彫像会公認キャラクター  
がもにゃん



## 自分が主役になれる町づくりとは...



総務常任委員会では、2月6日に二十歳のつどい実行委員と意見交換会を開催しました。

「自分が主役になれる町づくり」をテーマに町の課題を皆が認識し、多様な意見をいただきました。

若者が町づくりに参画しやすいよう情報発信し、若者の意見を反映させる施策が必要だと認識しました。

## 日野町議会70周年記念事業

# ギカイへ行こう!!

## 日野町議会初 体験型イベント開催

日野町議会は、昭和30年の町村合併とともに歩み続け、70周年を迎えました。

この節目を記念し、町民の皆さんに議会をより身近に感じ、  
理解を深めていただく機会として、  
令和8年2月8日に体験型イベントを開催しました。

当日は雪の中、子どもから大人まで87名にご参加いただきました。

議場で議席に座る体験を通して議会の説明を行い、  
正副議長室では議長・副議長との懇談を実施しました。  
また、議員控室や委員会室では展示やクイズを通じて、参加者の皆さんと  
議員との交流の場となりました。



議員のことばが  
優しくてわかりやすく、  
覚えやすかった

10代未満

### 参加者の皆さんの声

新しい行政の発見や  
学習ができました。  
傍聴にも伺おう  
かと思います。

70代以上

普段入れない場所に  
子どもと一緒にいることが  
出来て良かった

40代



日野町議会広報

**日野町議会 議会だより**

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。